



生徒作品が吾北中学校へ寄贈される



伊野商業高等学校の生徒から吾北中学校へ

学校行事の撮影を授業の素材として

撮影のきっかけは、伊野商業高等学校から教育委員会に依頼し、小中学校へ呼びかけてもらったことが始まりです。多くの学校が受け入れの意思表示をしてくれました。

今回は、吾北中学校の文化祭を取材させていただきました。

メディアクリエート科は映像制作技術や表現力の向上に取り組みます。

伊野商業高等学校メディアクリエート科は、デジタルカメラおよびビデオカメラでの撮影、コンピュータによる編集の技術の習得に取り組んでいます。科としても創立4年目を迎えて、今年度は科の目的として生徒自身の撮影及び編集技術の向上や映像を通しての表現力の学習内容を考えています。

撮影に関してはメディアクリエート科3年生が、編集に関しては2年生4名がそれぞれ担当しました。

地元の保育園、幼稚園、小学校、中学校でビデオカメラによる撮影をさせていただき、自分たちの勉強とともに編集したDVDを吾北中学校の生徒代表に手渡すことができました。これからも地域との交流が持てればと思っています。



次はどこに取材に行こうかな・・・

撮影班 3年生 保木敦圭 谷内章人

編集班 2年生 久岡一希 山脇翔太郎 隅田真衣 濱田茉奈



お知らせ

**6月は土砂災害防止
月間です**

「日ごろの備え」と

「早めの避難」が合言葉

土砂災害を防止するには、土砂災害に関する防災情報を正しく理解し、避難路、避難場所をあらかじめ確認するなどの「日ごろの備え」、雨量情報などに注意を払い異変を見つけてからの「早めの避難」を心掛けることが大切です。

防災情報は、テレビやインターネットなど、様々な手段で提供されています。これらの情報について行政側の「知らせる努力」、住民側の「知る努力」により、防災情報の共有を進めることが、被害を最小限に食い止める道の一つです。

日ごろから気象情報など様々な情報に気を配り、近所の方々などとも連絡を取り合い、自宅周辺の危険箇所や、避難場所を確認するとともに、避難の準備も忘れずしておくことが必要です。

国土交通省

四国山地砂防事務所